

答弁書

特許庁審査官 小林 大介 殿

1. 國際出願の表示 PCT/JP2004/003694

2. 出願人

名 称 松下電器産業株式会社

MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.

あて名 〒571-8501 日本国大阪府門真市大字門真1006番地
1006, Oaza Kadoma, Kadoma-shi, Osaka 571-8501 Japan

国 稷 日本国 JAPAN

住 所 日本国 JAPAN

3. 代理人

氏 名 弁理士(7793)前田 弘

MAEDA Hiroshi

あて名 〒541-0053

日本国大阪府大阪市中央区本町2丁目5番7号 大阪丸紅ビル
Osaka-Marubeni Bldg., 5-7, Hommachi 2-chome,
Chuo-ku, Osaka-shi, Osaka 541-0053 JAPAN

4. 通知の日付

29. 6. 2004

5. 答弁の内容

(1) 見解の要点

本願に対し、2004年6月29日付けの見解書により、下記の主旨の見解が示されました。

記

・請求の範囲8, 12-14, 20は、文献2により新規性及び進歩性を有しない。

文献2：JP 1-319178 A

なお、請求の範囲1-7, 9-11, 15-19, 21は新規性及び進歩性を有し、請求の範囲1-21は産業上の利用可能性を有する、との見解が示されています。

(2) 答弁

上記見解に対し、本願出願人は、別途提出の手続補正書により、請求の範囲の補正を行いました。

まず、請求の範囲8, 12, 20を、本願から削除しました。

つぎに、請求の範囲8の削除に伴い、これに従属していた請求の範囲9を独立形式に変更しました。また、請求の範囲12の削除に伴い、これに従属していた請求の範囲13を独立形式に変更しました。また、請求の範囲12の削除に伴い、請求の範囲14の従属先を請求の範囲13に変更しました。

さらに、請求の範囲22-26を追加しました。

追加した請求の範囲22-24は、補正後の請求の範囲9-11と実質的に同一内容の方法クレームです。請求の範囲9-11については、新規性及び進歩性を有するとの見解が示されていますので、請求の範囲22-24もまた新規性及び進歩性を有するものと思料します。

一方、追加した請求の範囲25, 26は、補正後の請求の範囲13, 14と実質的に同一内容の方法クレームです。補正後の請求の範囲13, 14については、下記を理由に新規性及び進歩性を有するものと思料しますので、請求の範囲25

, 2 6 もまた新規性及び進歩性を有するものと思料します。

以下、補正後の請求の範囲 1 3, 1 4 が新規性及び進歩性を有する理由を述べます。

(a) 本願発明の説明

本願補正後の請求の範囲 1 3 に記載の発明は、「D S V リセット手段を備え、変調コードを再生する信号再生装置の特性に応じて D S V のリセット周期を決定する」という特徴を有します。

(b) 引用文献発明の説明

文献 2 に記載の発明は、「データブロック単位で記録データの書き込みや書き換えをする」ことを目的します。したがって、その特徴は、「所定データブロック単位で D S V の値をリセットする」というものです。

(c) 本願発明と引用文献発明との対比

本願発明と文献 2 に記載の発明を対比するに、D S V の値のリセットが、引用文献発明では「所定のデータブロック単位」で行われるのに対し、本願発明では「変調コードを再生する信号再生装置の特性に応じた周期」で行われる点で、構成が異なります。そして、本願発明によると、信号再生装置や受信装置などにおいて、信号再生時の再生信号のジッタを軽減し、再生精度が向上するといった、引用文献発明では決して奏し得ない特別の効果が奏されます。なお、文献 2 には、「変調コードを再生する信号再生装置の特性に応じた周期で D S V をリセットする」ことを示唆する記述は見当たりません。

したがって、本願請求の範囲 1 3 に記載の発明は、その構成が文献 2 には開示も示唆も何らなされておらず、また、文献 2 に記載の発明からは決して奏し得ない特別の効果を奏するものであり、たとえ当業者といえども文献 2 から容易に想到し得ると到底いえるものではないと思料します。

また、本願請求の範囲 1 4 は請求の範囲 1 3 に従属しており、請求の範囲 1 3 が新規性及び進歩性を有するものである以上、請求の範囲 1 4 もまた新規性及び進歩性を有するものであると思料します。

(3) むすび

以上のように、補正後の請求の範囲13，14および追加した請求の範囲22-26は、文献2からみて新規性及び進歩性を十分に有するものであると、本願出願人は思料します。

以上、答弁申し上げます。